

浅川地区住民自治協議会だより



# せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川!

第 90 号

発行日 令和5年1月31日

発行人 金井明靖

TEL・FAX 026-244-5165



浅川地区住民自治協議会 会長 金井明靖

明けましておめでとうございます。

浅川地区の皆様には、健やかに新春を迎えられたこと、お慶び申し上げます。

また、日頃より浅川地区住民自治協議会の事業運営に特段のご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの感染が終息せず第8波までやってきました。ロシアのウクライナ侵略によるエネルギー危機から物価の高騰・急激な円安も追い打ちをかけ、生活が不安定な様相を呈しています。そのなかでサッカーのワールドカップでの日本代表の活躍は、多くの国民に感動を呼びました。

浅川地区におきましても、コロナ禍の中、感染対策を取りながら徐々に行事が行われてきました。善光寺御開帳期間中の浅川地区のPR活動、地区内めぐり、荻原市長との懇談会、地域福祉推進セミナー、地域防災力向上研修会、浅川ダム祭りでの農産物直売、社会を明るくする運動、防災訓練、戦没者追悼式、特に3年ぶりに開催された「ゆうわ祭」での、地区内の皆さんの笑顔が忘れられません。

浅川ダム周辺の清掃・整備、浅川河川敷のフジバカマ苑の整備、ハックルベリーの栽培などが行われました。支所周辺を花で飾る『あさかわ花❀花隊』の活躍があります。

地域おこし協力隊から浅川に移住された宋さんのワイン用ぶどう畑で、初収穫がありました。来春には浅川産のワインが出来上がります。またチーム・フロンティア浅川のハックルベリージャムも軌道に乗りつつあります。

新型コロナウイルス感染症対策のため分断されてしまったコミュニケーションの再構築・少子高齢化により地域役員の担い手不足・地球温暖化による異常気象からの災害対策・地区内での空き家対策等まだまだ問題が山積しています。このような時こそ人と人の絆が大切です。“おもてなしより思いやりが先”。「忘己利他」の人生を貫いた善光寺第103世大勧進貫主瀧口宥誠大僧正がおっしゃっていました。お互いに相手のことを思いやり、地域の安心・安全の行動を起こしましょう。

私も浅川地区住民自治協議会の役員となって、地区内外の諸問題を目のあたりにしてきました。任期も残り少なくなりましたが、地域の皆様を始め役員、関係諸団体の皆様のご協力ご支援に深く感謝申し上げます。

結びに新型コロナウイルス感染の終息を願いつつ、浅川地区が安心・安全な場所となることと、皆様方のご健康とご多幸を心より祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



【雪のブランド薬師】

## 乗合タクシー「あさかわ号」のバス停表示が新しくなりました！

平成20年4月に運行が開始された乗合タクシー「あさかわ号」は、中山間地域の大切な移動手段として利用されてきました。しかし高齢化・人口減少の進む中では利用者を増やすことは困難な状況が続いてきました。

住民自治協議会では「あさかわ号」は地域の“足”であり不可欠なものとして、地区懇談会等で出された様々な運行改善・利便性の向上に関する意見・要望をまとめ、市行政に伝え改善を求めてきました。

そうした中で、利用者を増やすためにも再度利用地域のみな

さんに「あさかわ号」運行を周知することが必要だとして、先ず表示が見にくくなったり、老朽化してなくなってしまったバス停を新しくすることとし、市交通政策課・運行事業者（中央タクシー）と検討を重ねてきましたが、12月8日に新バス停が完成・納品されました。

新しいバス停は真っ赤なりんごにゴマシジミとアサギマダラが舞う鮮やかなデザインに各バス停の時刻表が表示されています。「あさかわ号」が地域に愛されひとりでも多くの区民に利用され今後も継続されていくことを期待しています。（区長会副会長・中山間地域輸送システム担当 永井元治）

	01便	05便	11便	17便
中 曽 根	7:13	8:58	13:45	17:57
セブイレブン浅川店	7:37	9:22	14:12	18:16
浅川小学校	7:40	—	—	18:19
浅川支所	—	9:27	14:17	—

	10便	15便	16便	18便
浅川支所	13:05	—	—	—
浅川小学校	—	16:17	17:10	18:20
セブイレブン浅川店	13:10	16:20	17:13	18:23
中 曽 根	13:34	16:43	17:36	18:46



【新しいバス停が完成しました！

（左）看板型（右）置き型、他に打ち込み型の3種類あり】

## 長野市7公民館合同成人式行われる

1月8日（日）長野市芸術館において7公民館実行委員会（中部・芹田・古牧・三輪・浅川・若槻・小田切の各公民館）の主催で合同成人式が開かれ、新成人663名（男339名、女324名）が参加、浅川地区からは対象者63名のうち51名（男23名、女28名）が出席しました。民法改正で成人年齢が18歳になりましたが、従来通り20歳の門出を祝う会として開催されました。

三登山太鼓（若槻地区）の勇壮な演奏で始まった式典では、新成人を代表して浅川地区の若槻柅人さん、若槻地区の樋口佳那さんが「誓いのことば」を述べました。

（教育文化部会・地区公民館連合会）



【会場風景～会場前広場～】



【新成人の誓いのことば（左）若槻さん（右）樋口さん】



## 民生委員・児童委員、新体制で12月よりスタート！

民生委員・児童委員が令和4年11月に任期満了となるのに伴い、新しい委員の推薦準備委員会が6月8日に開かれ、各地区から推薦を受けた16名の委員（民生委員14名（今回1名増員）・児童委員2名）が選任されました。11月25日にはホクト文化ホールに於いて厚生労働大臣から委嘱を受け、12月から3年間の活動がスタートしました。

一人暮らしの高齢者や生活に困難を伴うお年寄り、また子供たちの安全・安心のために、日常的な見守り・相談・支援や災害時の支援など民生委員・児童委員の活動は多岐に渉りきわめて大切な役割を果たしています。

少子高齢化が急速に進む中で地域における福祉活動に対するニーズが増大する一方、その担い手となる民生委員の選任の困難さは増えています。委員だけでなく隣組等、地域一体となった支え合いや見守り等の対応・協力が必要となってきています。

これまでの民生児童委員のみなさんの活動に敬意を表するとともに、新しい委員のみなさんの活動に区民のみなさんの理解と協力をお願いします。  
(浅川地区民生委員児童委員協議会)



### 【民生委員】

【会 長】 徳竹貞夫（清水・台ヶ窪・坂中・福岡）

【副会長】 杉森京子（浅川団地） 【会 計】 知久荘治（西条）

【委 員】 北澤智子（東条・真光寺） 小林尚子（畑山・門沢・中曽根・大池南） 石坂正實（北郷・三ツ出）  
小川葉子（伺去・西平） 熊井芳美（押田） 竹元邦子（西条） 田中より子（西条） 永井茂富（浅川団地）  
竹村けさ子（屋敷田） 坂田和夫（神楽橋） 大塚博美（神楽橋）

【主任児童委員】 佐藤はつえ、宮澤さと子

## 2年ぶりに年末恒例の“しめ縄づくり”が行われる



### 【講師陣は充実！

右から 小島さん 斎藤さん 畠山さん】

12月18日（日）昨年はコロナ禍で中止された「しめ縄づくり（公民館冬季学級）」が行われました。講師には小島高志前公民館長を中心に斎藤可雄さん（屋敷田）、畠山正一さん（神楽橋）が加わり、40名余のみなさんが熱心にワラと格闘しました。

今年の漢字は「戦」。ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射等、世界情勢が混迷を深める一年でしたが、新しい年が平安であることを祈りながら真剣な表情で注連飾りを作りました。

(教育文化部会・地区公民館連合会)



【みなさん一所懸命！なかなか講師のようにはできませんが…】

## 浅川小学校PTA “焼き芋大会” 行われる！

11月12日（土）浅川小学校PTAでは焼き芋大会が行われました。

新型コロナの影響下、子どもたちの楽しみや思い出づくりとして何かできることをしてあげたいという思いで昨年始めた焼き芋大会。2回目の今年はPTA主催の「ふれあい祭り」の中の行事として開催され、秋空が広がり木々の紅葉が鮮やかに映える西校舎の前庭に200人以上の子どもたちが集まりました。



【落ち葉を集め、たき火を作り、お芋に濡らした新聞紙・アルミホイルを巻いて…美味しく焼きました！】

子どもたちは落ち葉を集めたたき火の場所に運び、自分たちが新聞紙とアルミホイルを巻いたさつま芋をたき火に入れていきました。

お芋が焼き上がるまでの時間、「謎なぞスタンプラリー」や体育館前ではわた菓子とポップコーンの販売、体育館の中ではスライム作り・キャンディレイ作りのコーナー、バザーが開かれ、子どもたちが元気に飛び回っていました。



【体育館ではいろいろなコーナーが設けられました！】

2時間ほどかかって焼き上がった焼き芋は、1本100円で参加者に渡されました。秋の日差しと紅葉の下、たき火を囲みながら子ども達の笑顔と笑い声が響いた西グラウンドは温かい空気に溢れていました。

## 「あさかわの里山と森を守る会」活動報告

あさかわの里山と森を守る会は、平成28年10月に設立した浅川地区住民を主体とするボランティア団体です。現在35名の会員が在籍し、浅川地区の里山環境の維持と保全を図るための整備活動に取り組んでいます。

浅川西条地区での秋の整備活動を9月27日～11月8日までに7回実施（延べ43人参加）しました。初日は進入路の草刈り・整備を行い、10月からは原木をチェーンソーで伐採し、



ウインチで引き出し、玉切り（一定の寸法に切断）や玉出し（運び出し）の作業を行いました。

伐採された一帯は視界が開け、太陽の光が十分に差し込むようになりました。今後も里山の再生に向けた整備活動を継続します。

### 新規会員 募集中！

浅川の里山の整備活動を行っています。伐採の技術やノウハウを身につけたい方、里山の保全活動に興味のある方など、お気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】あさかわの里山と森を守る会事務局（浅川支所 担当：羽深）TEL：241-3552



## 神楽橋区で文化祭行われる ～アルパカ登場！～

11月13日（日）神楽橋区集会所の前庭で秋の文化祭が開かれました。

会場には立科町から2頭のアルパカが運ばれ区民のみなさんに披露されました。

アルパカは大藤善孝区長さんのお知り合いが飼っていることから今回の催しが実現しました。

集まったみなさんは滅多に触れる機会のない珍しい動物に直にさわったりエサをくれたりして楽しんでいました。またアルパカクッキー、豆大福、みたらし団子の販売も行われました。

※アルパカとは？

南米アンデス地方で主に毛を利用する目的で放牧されているラクダ科の草食動物で、現在ではアメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランドでも飼育されています。臆病でシャイな性格ですが好奇心旺盛という矛盾したキャラで多くの人から愛されています。



【茶色のあおいちゃん（3歳）と白のパミラちゃん（2歳）～二人とも女の子です～】



【アルパカクッキー・豆大福・みたらし団子販売】

## 西条区文化祭開催される！

11月13日（日）午前9時30分から、第43回西条区文化祭が、区内の人権同和教育集会所で3年ぶりに開催されました。今回は、まだコロナ禍の影響がある中、演芸の発表や会場での飲食はできない状況でしたが、西条区の名物である焼き芋は、全区民へ引換券を発行して来場者に配られました。午前5時から200本を焼き続けましたが、10時頃には行列ができるほどの人気でした。

書道クラブ、ゴルフクラブ、ミュージックランド、太極拳、紙芝居のにこにこ一座、健康マージャン教室、やきもの同好会、山の会などの活動内容の展示があり、会員の高齢化は増していますが、まだまだ元気な様子うかがえました。



# 浅川の一年を振り返って

浅川支所長 柄澤 貞久



2022年も“新型コロナとの闘い”の年でありましたが、感染対策をとりながら社会・経済活動を回していくようになり、地区の行事も徐々に再開され始めました。“ウィズコロナ、アフターコロナ”の段階に入った地域のこの一年を振り返ってみましょう。

## 御開帳にも参画しました

1年延期で本年4月から行われた善光寺御開帳では「日本の門前町大縁日」が開催され、セントラルスクウェアの“地域の魅力発信ブース”には、住民自治協議会が地区紹介コーナーを、坂中地区の皆さんが農産物直売所を出展しました。また、「ながの獅子舞フェスティバル」では、伺去神楽保存会が舞を披露し、いずれも多くの観客で賑わいました。



## 地区防災訓練を3年ぶりに実施しました

9月24日、大雨警報継続中により規模を縮小しながらも、情報伝達・避難の訓練をしながら80名余が災害対策本部に参集。消防団浅川分団による放水訓練を皮切りに、煙体験・消火器操作・消火栓の取扱いの訓練と、救急救命・AED操作・搬送の訓練を交代で行いました。災害に対する普段からの心構えや備えの大切さは、実際の訓練を通してこそ、お互い確認し合うことができますね。



## ゆうわ祭も3年ぶりの開催でした

11月6日、展示コーナーには、書道、写真、絵手紙、絵画、陶芸など多くの力作が揃いました。ステージ発表では、浅川小学校の合唱に始まり、8組の団体・グループが熱演、惜しめない拍手がわきました。屋外には福祉バザー、フリーマーケット、野菜直売などが出店し、こちらも大盛況。日頃の成果の発表の場、そして交流の機会は、“お祭りパワーで地域力アップ”（スローガン）につながりました。



## ワイン用ブドウの収穫が行われました

10月15日、地域おこし協力隊として活動してきた宋裕光さんの圃場に、45人がかけつけました。半日にわたる摘み取り・選別作業の末、白ワインになるシャルドネという品種が700kg収穫されました。今回は東御市の醸造所に送られ、来年秋には遂に“浅川産ワイン”の誕生となります。さらには自前のワイナリー設立の準備にも入っているとのこと、浅川の新たな魅力発信を皆で応援しましょう。



2月から続いているロシアによるウクライナ侵攻は、終結の兆しも見えません。この時代、惨状を伝える情報は溢れていますが、それでも我々は、現地での筆舌しがたい悲劇に想像力を働かせなければなりません。同悲同苦。早く戦争が終わるよう祈りながら、新しい年を迎えたいと思います。



# 共に生きる



## ひとり暮らし 高齢者の つどい



-----日帰りバスツアー編-----

秋晴れの好天の下、おひとり暮らしの高齢の方を対象に、市内日帰りバスツアーを開催しました。目的地は『長野市立博物館』と、『おやきファーム by いるは堂』。バスの中では久しぶりにお顔を合わせた面々で会話に花が咲き、お話が尽きることはありませんでした。

今回は車いすの利用を希望される方にもご参加いただけるよう、リフト付き観光バスをチャーターし、長野市ポランティアセンターより車いすをお借りしての開催となりました。事前に社協役員対象に車いす介助研修を実施するなど、参加者の皆様により安全に、また気軽に社協事業にご参加いただけるよう、今後も活動してまいります。

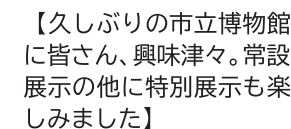
『ひとり暮らし高齢者のつどいに参加して』  
区長会副会長（社協担当）

永原 要

民生委員さんをはじめ、各方面からご協力をいただき、誠にありがとうございました。



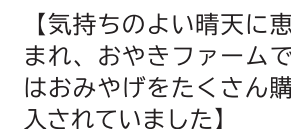
【バスの車体横から昇降するリフトは珍しく、車いすのまま、車内に乗り込むことができます】



【久しぶりの市立博物館に皆さん、興味津々。常設展示の他に特別展示も楽しみました】



【おやきの製造工程を見学。どんどん出来上がっていく様子は目を見張るものがありました】



【気持ちのよい晴天に恵まれ、おやきファームではおみやげをたくさん購入されていました】

## 認知症講座 「認知症のおはなし②」

8月に続き、2回目の講座を開催しました。今回は『“もしも”のための支援策』と題して、地域包括支援センター・博愛の園の皆さんに寸劇を交え、認知症に関する具体的な支援策について教えていただきました。最後は前回と同様、これさえ覚えれば安心♪片足立ちを全員で行いました。





11月ミニ運動会

【はじめてのパラバルーンにキッズたちの目はキラキラ♪】

【浅川おとこ塾・ウクレレ講座受講者の皆さんからのクリスマス・ソングのプレゼント♪】



12月クリスマス会



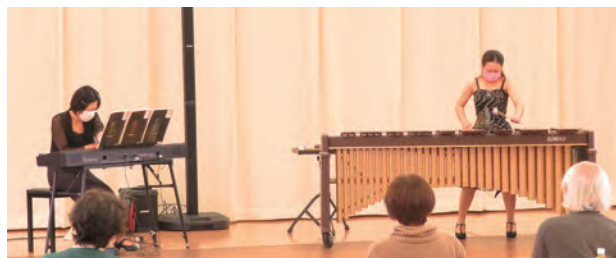
【日頃、個々で活動されている家事協力会員・移送協力会員が一同に会し、情報を共有しました】

地域たすけあい事業

## 協力会員研修会



地域たすけあい事業の協力会員としてご活動いただいている皆様をお招きし、活動をする上での注意点など忌憚のないご意見を出し合う会員同士の情報交換の場として、研修会を実施しました。  
また、日頃のご活動への感謝の気持ちを込めて、マリンバとピアノによる『癒しのコンサート』を企画し、しばし軽やかな音色に耳を傾けながらゆっくりとした時間を過ごしていただきました。



## 今後の予定

- 1/18(水) アップルキッズ  
▶おさがり交換会
- 1/21(土) 冬期学級(浅川公民館との共催)  
▶はつらつ体操お試し講座
- 2/12(日) 浅川地区住民福祉大会  
▶地域福祉活動功労者・感謝状贈呈  
▶記念講演:『みんなで知る・みんなでつながる地域づくり ~ヤングケアラー支援を通して~』



## 「赤い羽根共同募金」にご協力ありがとうございました!

募金総額 **1,398,611** 円

(内訳) 個人: 1,227,611円 法人: 171,000円

※浅川地区目標額823,000円を超過する額は住民自治協議会に還元され、様々な活動費に充てられる予定です。

### <予定 2月~3月>

☆浅川地区住民福祉大会(社会福祉協議会)…2月12日(日)午後1時30分~(公民館大会議室)

☆浅川地区男女共同参画講演会(人権啓発委員会)

……………2月19日(日)午後1時30分~(公民館大会議室)

### 広報委員から

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染が終息しない中ではありましたが、赤十字奉仕団としては3年ぶりの浅川地区防災訓練で炊出し訓練に参加しました。初めて経験する方がほとんどでしたが、皆さんで協力し合い行うことが出来てとてもよい経験をさせていただきました。

令和5年も様々な催しが計画されていますが、開催された折には広報誌「せせらぎ」で紹介出来たらと思います。本年もよろしくお願い致します。

広報委員 井上 里美(安全防災部会・赤十字奉仕団浅川分団長)